

十勝は小麦の一大産地で、作付面積は全道の約4割を占める。ホクレン帯広支所によると、2024年産の作付面積は前年並みの3万8000畝で、収量は平年をやや上回る約24万トンの見通しだという。

今季は播種(はしゅ)時期から天気が良く、春の雪解けも早かったため、当初は史上最大の豊作が予測された。だが7月の高温・干ばつ傾向で登熟期間は短くなり、大豊作だった前年には6%ほど及ばなかった。品種別ではパンや菓子、麺など

小麦 [WHEAT]

前年から微減も
全量1等級に



十勝の2024年産小麦は収量約24万トンの見通し

に使われる「きたほなみ」が22万1000ト、超強力の「ゆめちから」が1万8500ト程度の収量となった。収穫は、日照時間が平年を上回ったため平年より8日早くなった。昨年産より若干小ぶり傾向だが品質は良く、歩留まりも平年並みから一年以上となっている。等級は全量が1等級だ。

十勝管内の小麦の収量は15年産28万1000トが最高で、21年産26万1000ト、23年産25万7000トと続く。

ジャガイモ [POTATO]

干ばつ影響も
品種によって差

ジャガイモは7月までの干ばつが影響し、品種によって出来が異なった。

「メーカー」は、こぶができたり再膨張する2次成長が懸念され、農家の取り組みや畑の場所によって差が出た。でんぷん専用品種の「コナヒメ」は、程よい暑さと昼夜の寒暖差でライマン価(でんぷん含量)に恵まれた。

加工用の「トヨシロ」も干ばつに悩まされたが、各農家の努力によって

平年並みの収量を確保。カルビーポテト(帯広)の田崎也社長は9月の収穫イベントで「今後の温暖化対策には、最新のポロシリに代わる品種開発が必須」と話した。

十勝総合振興局によると、今季は5月4日に植え付けが終わり、5月23日の萌芽(ぼうが)期や6月24日の開花期を経て、収穫の目安となる莖葉黄変期を8月7日に迎えるなど、例年より5日ほど早い生育となった。



畑から掘り出されるメーカー

「雪」と「氷」ではこんなに違うんです!

1 「氷」は外の温度に左右されず0°Cで通年貯蔵

「雪」は水が凍る時の潜熱(発熱)がすでに上空で凍っていますが、地上では利用できません。「氷」は水が凍る潜熱で、庫外が例え-30°Cであっても庫内の水が完全に凍るまでは庫内温度を水の発熱で0°Cに保ちます。

2 「氷」はリサイクル、「雪」はワンウェイ

「雪」は潜熱を利用後、排水されるので毎年集積・搬入が必要です。「氷」は貯氷皿内の水の凍結融解を何年も反復して使用できます。

3 「氷」はきれいで清潔

「氷」は水道水、営農用水をリユースします。「雪」は毎年排雪を使用します。排雪には動物の排せつ物の異物が入ることがあります。

CO₂排出
ゼロ!!



Think globally Act locally
株式会社 土谷特殊農機具製作所

本社/帯広市西21条北1丁目3番2号(西帯広工業団地)
TEL.0155-37-2161 FAX.0155-37-2751
札幌支店/帯広営業所/釧路営業所/中標津営業所/北見営業所/八雲営業所/興部出張所



氷を使う
アイスシエルトは
安心・清潔・便利です。

4 「氷」は道内どこでも利用できる

寒冷気候帯に位置する北海道では、道内の全地域で氷を利用できます。「雪」は降雪量が少ない傾向の道東、太平洋沿岸では利用が限定されます。

5 「氷」利用施設は市街地でも使用できる

「雪」は貯蔵のため広い集積場と作業場、広い雪の貯蔵庫が必要ですが「氷」は最初の水入れの後は1~2年に1回給水バルブを開くだけで動力、労力がかかりません。

*写真はイメージです。

農業・製造業をはじめ幅広い分野で活用できます!!

- 佐々木ファーム【洞爺湖町】 帯広中の一例です
- チーズ工房タカラ【喜茂別町】
- 東洋食肉販売株式会社十勝事業所【帯広市】
- 農産物貯蔵庫【モンゴル・ウランバートル市】

もう電気だけには頼れない!

電気冷蔵庫による貯蔵ではなく冬の寒さをエネルギーとして製氷を行い氷に潜熱を利用して通年貯蔵します



脱炭素チャレンジカップ2021
環境大臣賞受賞
(企業・自治体部門)



平成30年度
地球温暖化防止活動
環境大臣表彰
技術開発・製品化部門



平成29年度
新エネルギー
新エネルギー財団会長賞